

登録コード	E8253304	開講年度	2026				
授業科目	社会科教育特別演習E					担当教員	廣内 大助
英文授業名	Special Seminar of the Social Studies E					副担当	内山 琴絵
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				自然地理学について理解を深める		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				大学での学習・研究活動に不可欠な思考力、読解力、文章作成能力、ディスカッション及びプレゼンテーション能力等について、その基礎を習得する		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	自然地理学分野に関わる文献講読と発表を行う 地理学、特に自然地理学分野に関わる文献（書籍、論文）を各自選定し、内容の発表を行う。休日などを使った巡検や野外調査も実施する。						
(5)授業計画	第1回： ガイダンス 第2回：自然災害科学文献の探し方、選び方 第3回：基礎的書籍の講読 第4回：文献講読と発表(水災害とその対応に関わる内容) 第5回：洪水災害の実態調査に関するもの 第6回：洪水災害のメカニズム解明に関わるもの 第7回：台風と高潮災害 第8回：斜面災害 第9回：文献講読と発表（地震災害に関わる内容） 第10回：日本のプレート境界型地震 第11回：海外のプレート境界型地震 第12回：日本の活断層地震 第13回：海外の活断層地震 第14回：地震の発生に伴う津波災害の事例（授業アンケート） 課題提出						
(6)成績評価の方法	自然地理学の理解を測る発表（40％）、課題提出(60%)により評価。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀、89-80％ 優、79-70％ 良、69-60％ 可、59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	課題文献の内容が解説できれば可、文献が引用する文献の内容まで含めた解説ができれば良、文献が提示する課題解決の方法まで提示できれば優、文献だけでは読み切れない応用課題まで提示できれば秀						
(8)事前事後学習の内容	一週間前までに次週発表の論文内容がpdfでまわるので、それを熟読の上問題点を考えておくこと。また演習時の論文や議論について、復習しまとめておくこと。 論文の選定やレジュメ作成、復習に15～16時間程度を要する。						
(9)履修上の注意	自然地理学演習 と連続して受講することがのぞましい。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	随時対応（M419研究室）						
【教科書】	使用しない						
【参考文献】	授業時に適宜指示する						